

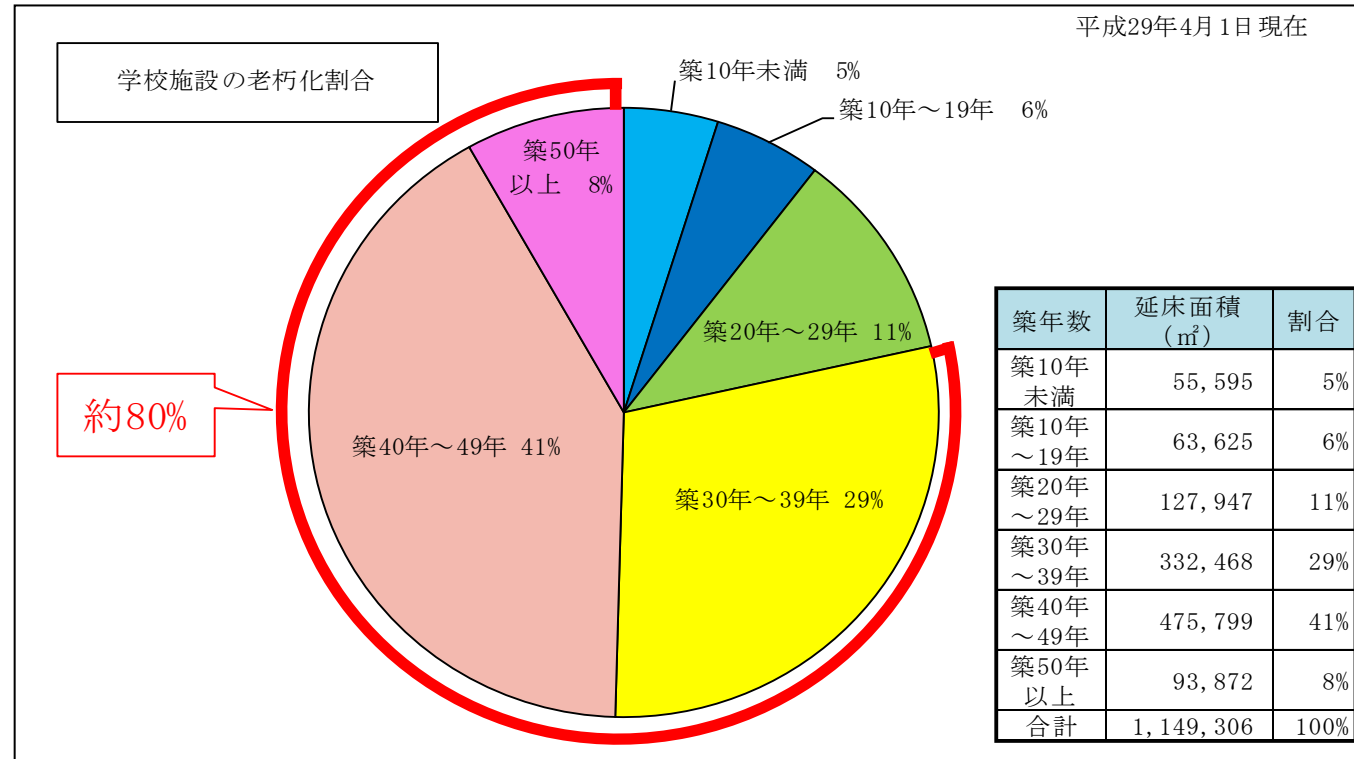
(参考) 学校施設的环境整備について

※前回配布資料（資料6-1）を改編

1 学校施設環境の課題

(1) 老朽化の進行

本市の学校施設は、昭和40年代から50年代にかけての児童生徒数の急増時に建設されたものが多数あり、その施設の約80%が建築後30年以上を経た現在、建物内外部や設備配管機器などの老朽化が進んでいる。



(2) 老朽化に伴う支障等（主なもの）

施設の老朽化に伴い、下記をはじめとして、様々な支障を来している。

ア 外壁の劣化に伴う、剥がれ・落下	エ トイレ、給食室の衛生状態悪化
イ 配管類の劣化・破損等に伴う、水漏れ・異物混入	オ 教室等の床（Pタイル）の劣化、剥がれ
ウ 屋上の劣化に伴う、雨漏りの発生	カ 防災設備（防火シャッター、火災報知器等）の不具合

2 これまでの取組状況・今後の事業費見込み

- ア 千葉県耐震改修促進計画（平成20年3月策定）に基づき、耐震補強を優先実施し、平成27年度に100%完了した。
（総事業費 H9～H27年度 56,890百万円）
- イ 千葉県学校施設保全計画（平成24年3月策定）に基づき、平成28年度からは、大規模改造工事等の本格的な老朽化対策に着手。
（計画上は、年8校大規模改造工事を実施する予定だったが、現状では3～5校程度の実施。）
- ウ 上記に加えて、施設・設備の支障発生時における、各種改修工事（約4億円/年）や小規模修繕等（約3億円/年）を実施。
- エ 現状では、危険性の高いもの、毎日使用する設備、授業等の実施に支障を及ぼすもの等について、優先的に対策を実施している。

【優先順位】

- (ア) 落下した場合危険な外壁改修
- (イ) 大規模改造（屋上防水、配管類更新、床材改修、給食室改修等）の計画的な実施
- (ウ) トイレの環境改善（洋式化、ドライ化、配管設備改修等）
- (エ) 音楽室及び特別支援学級へのエアコン整備

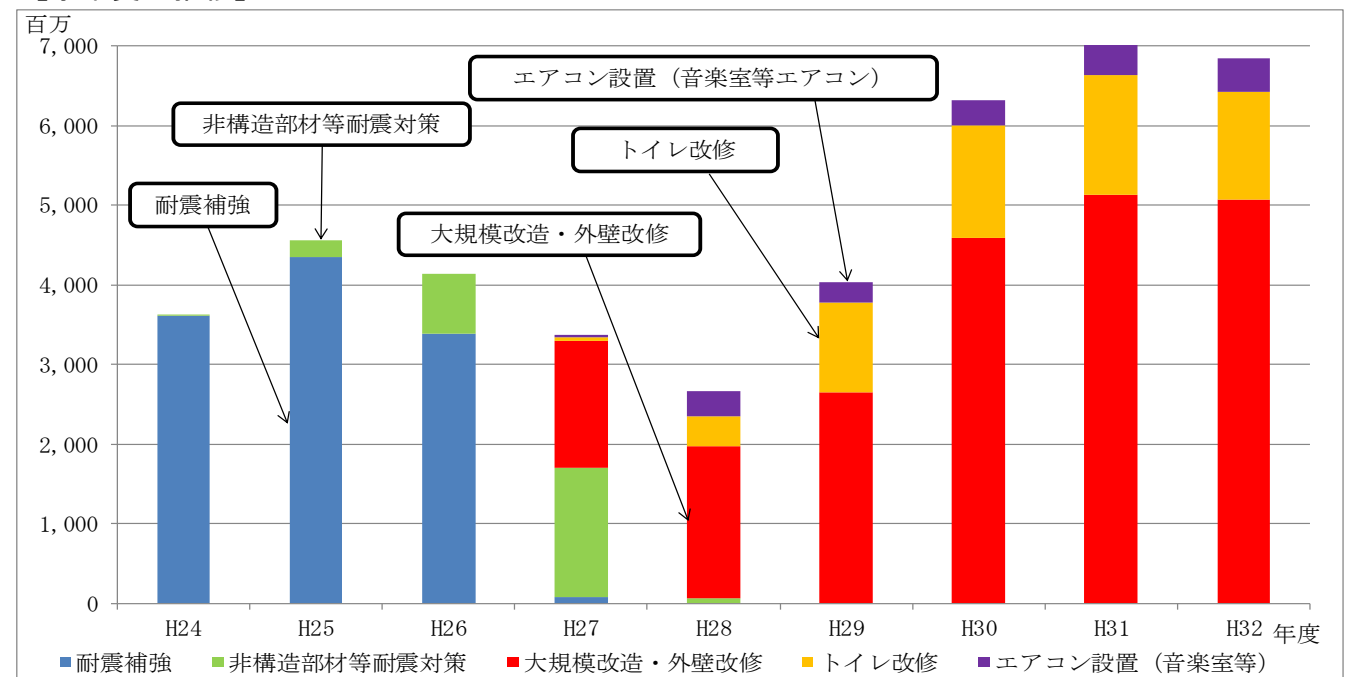
【工事の予定】 ※H28は実績

事業内容	H28	H29	H30	H31	H32	計画事業量
大規模改造	3校 2.7億円 (2%)	5校 20.3億円 (5%)	5校 36.7億円 (9%)	5校 41.2億円 (12%)	5校 41.5億円 (15%)	152校/20年
外壁改修	15校 16.3億円 (14%)	5校 6.1億円 (19%)	7校 9.2億円 (25%)	7校 10.1億円 (32%)	6校 9.3億円 (37%)	107校/15年
トイレ改修	5校 3.8億円 (5%)	9校 11.4億円 (13%)	11校 14.1億円 (24%)	11校 15.1億円 (34%)	11校 13.4億円 (45%)	105校/10年
エアコン設置 (音楽室・特別支援学級等)	25校 3.2億円 (15%)	27校 2.5億円 (32%)	29校 3.2億円 (50%)	40校 4.3億円 (74%)	42校 4.2億円 (100%)	163校/5年

※1 () は計画事業量に対する進捗率

※2 大規模改造は、2か年事業であるため、H29以降の金額には前年度から継続して実施している学校の費用も含まれる。

【事業費の推移】



※H29以降については、見込みの値である。